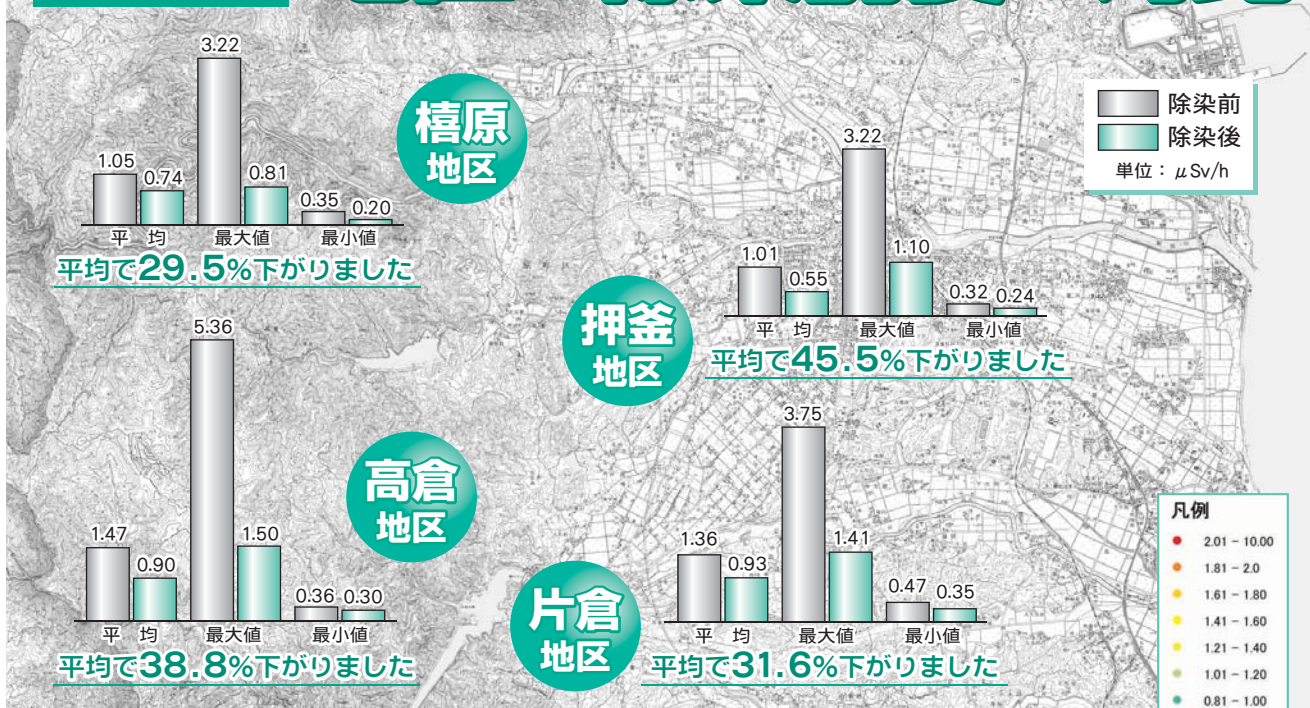
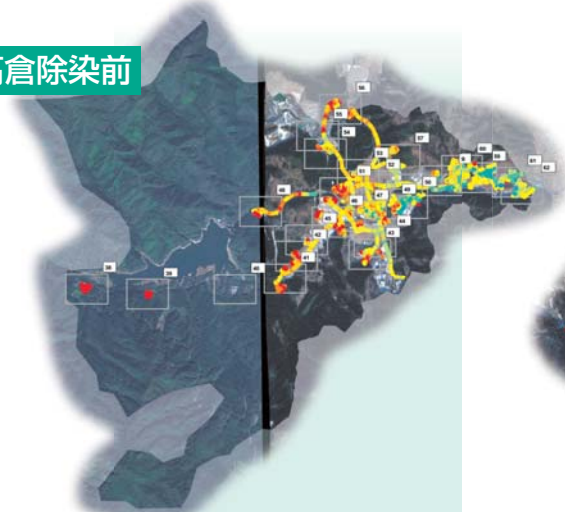


片倉・押釜
高倉・禧原

地区の除染前後の対比



高倉除染前



片倉除染前



高倉除染後



片倉除染後



航空写真提供 © DigitalGlobe

今後の 除染の動き

馬場、上栃窪地区は11月末完了を目途に除染を進めています。

また、大木戸地区は来年2月中、雲雀ヶ原地区は来年3月中、牛越地区は来年3月中までには終える予定です。

長野・北長野・石神・北新田及び信田沢地区では、仮置場設置の住民合意が得られ、地権者との契約が終了していることから、順次除染に着手する予定です。

深野、栃窪地区でも仮置場設置の住民合意を得て、地権者との契約準備中です。

問合せ 除染対策課 ☎ 5 2 5 7

これまでの除染で見えたこと

- 空間線量率に見る除染の効果は、例えば森林に囲まれていて線量低減効果を得にくいなど個々の物件の立地環境に大きく左右されています。
- 屋根は、材種による違いはありますが、おおむね線量低減効果がありました。
- 樹脂素材の屋根やタイルの舗装面は、計測された数値が低い傾向にあるので、付着した放射性物質が雨などですでに流されている(放射性物質が付着しにくい)と考えられます。この場合、流れた放射性物質が行き着く雨どいや側溝で数値が高くなることがあります。
- 庭の表土除去は、おおむね線量低減効果がありました。
- 舗装面は、表面の凹凸が激しい場所では表層研削を行ってもあまり効果の表れない事例がありました。
- 除染を行っても空間線量率が長期的な目標に達していないところが見受けられます。市では、一度市内全域を除染したうえで、改めて計画的に除染に取り組みたいと考えています。しかし、同じ除染方法では再度除染しても効果が得にくいことから、国に対し、有効な除染方法について検討することや、再除染ができるように強く要望します。

檜原除染前



押釜除染前



檜原除染後



押釜除染後

